

# ケアプランデータ連携システム 活用促進モデルづくり事業 支援パッケージ



自治体とNPO法人タダカヨがタッグを組み、地域全体の介護現場の生産性向上を支援する厚生労働省事業です。NPO法人タダカヨは、「無料もしくは低コストのITサービスを上手く使って介護をより良くする」を掲げ、メンバー全員がデジタル庁から任命を受けたデジタル推進委員であり、現場目線のDXを推進する非営利団体です。

## 背景と目的 (なぜ今、データ連携が必要か)



生産性を倍以上に高めなければ、2050年の介護ニーズに応えることは不可能です。

事務作業時間を「数日」から「15分」へ短縮、制的な効率化を実現します。



「介護情報基礎」へのスムーズな移行を支援  
令和6年度から始める遺のインフラを見換え、  
今から **パスワードやDX証明書** の準備を整えます。

## 成功に導く5つのポイント (タダカヨの支援内容)



①

### 説明会の開催 (階層別アプローチ)

全体向け、地区別、経営層向け、現場職員向けなど、最適なメッセージで導入の意義を伝えます。

②

### 伴走支援 (現場を知るプロが並走)

介護環境で活躍するICTに詳しいメンバーが、パソコン設定や業務フローの見直しを連携サポートします。

③

### サポートデスク (安心の相談窓口)

介護・伴走支援の経験者が電話やリモートで対応、現場等での「困った」を即座に解消します。

④

### 多角的な広報・ 情報提供

専用ポータルサイトの構築、チラシ配布、FAXDMなど、あらゆるチャネルで普及を加速させます。

⑤

### 各種セミナー (意識醸成と技術向上)

ICT/DXへの理解向上セミナーに加え、各介護ソフト別の操作説明会など、実践的な学びを提供します。

## 確かな実績と普及の成果

受託実績: 令和6年度7市町村 → 令和7年度

約**40**区市町村

全国の自治体から信頼され  
急速に支援の幅が広がっています。



支援地域の平均普及率: 約**40%**  
全国平均を大きく上回る普及率を達成し、  
地域の連携価値を高めています。

### 導入事例の成果

大規模自治体	全800中 約300事業所導入	短期間で地域の「面」での普及を実現
小規模自治体	普及率 95%以上	<b>全ての</b> 事業所がデータ連携へ移行完了